

## 『安心堂こどもカンパニー』の様子

～東京 TASK マーケットの販売まで～

### ●プロジェクトの様子

5月22日（土）安心堂会社説明・安心堂こどもカンパニー概要説明・梱包用箱印刷

6月6日（日）沿線ガラスの成り立ち・新路線の決定

6月19日（土）沿線ガラス印刷

7月4日（日）販売研修・紙袋印刷

7月10日（土）東京 TASK マーケット沿線ガラス販売

5月22日（土）

自信をもって参加する子、ドキドキしている子、まだ入所したばかりの子、はじめてが苦手な子、みんな恐る恐る安心堂に向かいました。到着すると『安心堂こどもカンパニー入社式』という立て看板があり、子どもたちの名前を入れた社員証が用意されており、歓迎ムード一色のみなさんのおもてなしがとてもうれしかったのを覚えています。

この日は、安心堂の会社について、また安心堂こどもカンパニーについて、丸山社長からお話を伺い、沿線ガラスの梱包用の箱にロゴ印刷をしました。印刷会社であることを知り、飾ってあるサンプルを目にして「夏休みものづくり体験でハンコづくりやったよ」と言う子どももいたり、沿線ガラスは“地元をつなぐ”をコンセプトにしている商品ですが、こうした会話からも、関係のある人と人同士を沿線ガラスが結びつけてくれているように感じられました。

6月6日

1回目を終えて、だいぶ雰囲気慣れてきたのかみんな表情よく、よく笑い、コミュニケーションを取っている姿が印象的でした。子どもたちの姿がたった1回の経験でここまで変わるのかというくらい見違える姿となっていて、経験という力の大きさを改めて感じました。沿線ガラス誕生秘話を丸山社長が子どもたちに語り、コロナの脅威を改めて感じ、沿線ガラスに込める丸山社長の思いを、きっと子どもたちも感じ取ったことでしょう。2組に分かれて、それぞれ上野駅を通る在来線の中から、どこの路線がいいか、売れるか考え、その地にはどんな人がどんな思いで暮らしていて、どんな街なのか、どんなお店があるのか等、調べて、丸山社長へプレゼンをしました。そして、当初1路線の予定であった新路線の沿線ガラスでしたが、子どもたちのプレゼンを聴いて、丸山社長が悩んだ末に出した結論は、どちらも採用ということでした。これには、子どもたちも周りにいた大人たちも驚きました。

上野東京ライン・常磐線品川-松戸、日比谷線茅場町-南千住の2路線に決定しました。

6月19日

いよいよ新路線沿線グラスの誕生です。パッド印刷という方法で、子どもたちが考え、採用された2路線の沿線グラスを印刷しました。一つひとつ丁寧に、心を込めて、手作業で印刷しました。検品して、「曲がっている。」「薄くて、欠けている。」など厳しくチェックして、何度もやり直しました。自分たちが考えた路線が、沿線グラスとして印刷されたものを目にしたときは、みんな「おお!!」という声を上げて、感動していました。

7月4日

この日は、ビジネス学校でもお世話になった小沼先生にお越し頂き、販売研修を行いました。子どもたちは、お客様へのおもてなし、心を込めて伝える7つのこどばを教わり、実際に大人がお客様役を務めて、5分間の販売接客練習を行いました。癖のあるお客様、優しいお客様、質問をたくさんするお客様等、色々なお客様の設定を大人が演じ、子どもたちは見て、聴いて、やってみて販売のイメージを高めました。また、購入頂いた際に沿線グラスを入れてお渡しする紙袋のロゴ印刷も行いました。丸山社長から一人ひとりに、販売当日のユニフォームとして、東京 TASK マーケットのために作った安心堂 T シャツが手渡されました。

7月10日

いよいよ販売当日を迎えました。東京 TASK マーケットは7月8日～11日の開催ですが、子どもたちが店頭で販売するのは、この日だけです。みんな朝から店頭で立ちたいと言っていましたが、生憎みんな土曜授業であったため、14:00頃上野駅に到着しました。丸山社長と一緒に近隣ブースにご挨拶して、それぞれのブースで販売している商品についてお話を伺いました。そして2組に分かれて交代しながら販売をしました。上野駅構内は蒸して暑さもしんどいくらいでした。雨予報の天気が一変して晴れたことには喜びましたが、その分暑さが厳しい一日となりました。はじめは練習成果発揮できるのか心配でしたが、「いらっしゃいませ」「限定品ですよ」「残りわずかです」とお声を掛けたり、購入して下さるお客様をレジまでご案内したり、「ありがとうございます」と商品を手渡したり、教わったことを発揮しようという気持ちは感じられました。ヴィレッジの大人も子どもも、また足立区役所子どもの貧困対策・若年者支援課、協働・協創推進担当の方々はじめ、多くの関係者の方々が子どもたちの応援に足を運んで下さいました。皆様のお陰で見事2路線完売となり、みんなで喜びを分かち合いました。

子どもたちにとって本当に貴重な体験となりましたし、みなさんと共有した時間、モノ、コミュニケーションとても実り学びの機会となりました。これまで日常ではなかなか見られ

ない子どもたちの様子があり、1回、1回重ねる毎に変わっていく子どもたちの姿に、大きな成長を感じることができました。株式会社安心堂の丸山社長、一般社団法人おせっかい子育てプロジェクトや足立区役所子どもの貧困対策・若年者支援課のみなさん、この安心堂子どもカンパニーに携わって子どもたちを支えて下さったすべての関係者のみなさんに感謝致します。